

担当	検 査 チ ャ ー ト			
家畜保健衛生所	(1) 疫学調査 (2) 臨床検査 (3) 剖検 (血清、肝臓、腎臓ほか) (4) 血液生化学検査 (死亡畜、と畜等)			
病性鑑定施設	(5) 生化学分析 (6) 病理組織検査 (+)(-) (+)(-)			
判定・結果	(+)	(-)	(+)	(-)
最終判定	判定は総合的に判断する。			
その他				

→類似疾病検査

- ① 7 ピロプラズマ病 ② 57 牛エペリスロゾーン病 ③ 161 ヨーネ病

(1) 疫学調査

- ① 同一農場で発生する。
- ② 子牛に育成牛用、めん羊に牛用の配合飼料を多給している。

(2) 臨床検査

- ① 食欲不振、胃腸カタル、疝痛
- ② 黄疸、貧血
- ③ 血色素血症、血色素尿症

(3) 剖 検

- ① 黄疸
- ② 肝臓の黄色化
- ③ 腎臓の腫大と暗赤色あるいは黒青色化
- ④ 全身性水腫

(4) 血液生化学検査

- ① 血清 AST、LDH、 γ -GTP: 上昇
- ② 血清ビリルビン: 上昇
- ③ 有棘赤血球およびハインツ小体を有する赤血球の出現

(5) 生化学分析

原子吸光法による。血清銅濃度は比色法も利用可能

血清、肝臓、腎臓、等の銅含量: 中毒例では肝臓で 150ppm 湿重量以上¹⁾

飼料中銅濃度: 25ppm 以上(子牛、めん羊)

(6) 病理組織検査

- ① 銅の過剰蓄積を伴う肝細胞の変性と壊死。
胆汁のうっ滞
- ② 腎尿細管上皮細胞内に赤色顆粒(ヘモグロビン)が出現
- ③ 肝性ないし腎性脳症病変がみられることがある。

(参考文献)

・家畜中毒診断のためのオンラインマニュアル

(http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_poisoning/manual/index.html)

- 1) 家畜における生化学病性鑑定のための臨床生化学的検査マニュアル

(http://www.naro.affrc.go.jp/niah/disease/biochem/cu_zouki_sokutei/index.html)